

「具体的に」「ゆっくり」「やさしく」話しかけてください

●手帳などで名前や連絡先がわかることがあります。

本人が名前や連絡先のわかるものを持っていますか？

本人が言葉で言わなくても、名札や手帳などでわかれば自宅等へ連絡してください。

●コミュニケーションボードを使ってください。

絵を指しながら、質問してください。

次の行動を伝えてから、実際の行動に移ってください。



「痛いところはどこですか？」
「手帳を持っていますか？」



「ストレッチャーに乗ります」→「救急車に乗ります」
→「病院に行きます」

コミュニケーションボードとは

コミュニケーションが苦手な知的障害のある方などと、
周囲の人たちとの間をつなぐ話しことばに代わるもののひとつです。
文字やことばで意思を伝えることが難しくても、
ボードの絵を指さして意思を伝えることができる人もいます。



発行：2006年12月

発行者：セイフティーネットプロジェクト横浜

構成：横浜市身体障害者団体連合会・横浜市の障害者施策を考える連絡会

横浜市心身障害児者を守る会連盟・横浜障害児を守る連絡協議会・横浜市自閉症児・者親の会

横浜知的障害関連施設協議会・横浜市障害者地域活動ホーム連絡会

横浜市障害者地域作業所連絡会・横浜市グループホーム連絡会・P&A研究会カナガワ

横浜市精神障害者地域生活支援連合会・知的障害者自立生活アシスタント連絡会

横浜市社会福祉協議会・横浜市

協力：(財)明治安田こころの健康財団

事務局：(福)横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター

〒231-8482 横浜市中区桜木町1丁目1番地 横浜市健康福祉総合センター9階

Tel.045-681-1211 Fax.045-680-1550

こちらからダウンロードできます。

<http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/safetynet/safetynet.html>

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/shogai/board/kyukyu.html>

わたしたちのこと 知ってください 応援してください

人は誰でも、住み慣れた街で暮らすことを望んでいます。
障害児・者が安心して地域で暮らすためには、
地域の方々のご理解や、ご協力が必要です。

救急隊のみなさんへ

障害児・者が病気やけが等をしたとき、
うまく状況を伝えられないことがあります。
そんなときのために、コミュニケーションの手段も含めて、
障害をもっと知っていたければと思い、
このチラシとコミュニケーションボードを作成しました。

身元の確認は？
痛いところは？

パニック？



こんなときのために・・・